

**「アスリートイメージ評価調査」を実施
～アスリートに対し生活者が抱くイメージを総合的に測定～**

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ(本社:東京都港区 社長:佐藤孝 以下博報堂DYメディアパートナーズ)は、株式会社博報堂DYスポーツマーケティング(本社:東京都港区 社長:萩原徳正 以下博報堂DYスポーツマーケティング)と共同で、アスリートの総合的なイメージを測定する「アスリートイメージ評価調査」を行いました。

この調査はCMキャスティングの際に使用する基礎データとしての活用を主な目的とし、対象アスリートの認知、好意度のほか、博報堂DYメディアパートナーズが独自に構築した29項目のイメージ評価によるオリジナル調査として実施しています。また、アスリートのイメージ評価だけでなく、各スポーツのイメージも併せて調査しており、アスリートとスポーツジャンルのイメージ関係性の把握も可能となっています。

今回調査での総合ランキング1位は、イチロー(野球)。2位に浅田真央(フィギュアスケート)、3位にクルム伊達公子(テニス)となっており、年齢や限界を超えて目標に挑み、人々に夢と感動を与えているアスリートが上位にランキングされる結果となりました(敬称略、以下同)。

イメージ項目の「好感がもてる」アスリートは、1位にイチロー、2位に浅田真央、3位にクルム伊達公子とトップ3は総合ランキングの順位と同じとなっています。

また、「食やトレーニングについての意識が高い」アスリートは、1位にイチロー、2位にクルム伊達公子、3位に工藤公康(野球)となっており、現役で長く活躍を続けているアスリートが上位を占めています。見えないところでの努力や自己管理ができることが高く評価されたと考えられます。

そして、「エコ/環境問題に関心を持っている」アスリートは、1位に中田英寿(サッカー)、2位に三浦雄一郎(スキー)、3位に星野仙一(野球)で、エコに関連する活動を地道に行っているアスリートが認知され、高く評価される結果となりました。

博報堂DYメディアパートナーズでは、オリンピック出場選手を対象とした調査など、今後も定期的に「アスリートイメージ評価調査」を実施し、アスリートのイメージ評価がどのように変化していくのか分析を行ってまいります。

■主な調査結果

1)イメージ総合ランキング上位には、「イチロー」「浅田真央」「クルム伊達公子」

自己管理をしっかりとしながら、長い選手生活を今も続け、夢と感動を与えているアスリートが上位にランキングされる結果となりました。

- 1位: イチロー(野球)
- 2位: 浅田 真央(フィギュアスケート)
- 3位: クルム 伊達 公子(テニス)
- 4位: 星野 仙一(野球)
- 5位: 中田 英寿(サッカー)
- 6位: 中村 俊輔(サッカー)
- 7位: ダルビッシュ 有(野球)
- 8位: クリスマーノ ロナウド(サッカー)
- 9位: 三浦 知良(サッカー)
- 10位: 三浦 雄一郎(スキー)

2)“好感が持てる”アスリートには、「イチロー」「浅田真央」「クルム伊達公子」

年齢や限界を超えて目標に挑むアスリートが高く評価されています。

- 1位: イチロー(野球)
- 2位: 浅田 真央(フィギュアスケート)
- 3位: クルム 伊達 公子(テニス)
- 4位: 野茂 英雄(野球)
- 5位: 中村 俊輔(サッカー)

3)“食やトレーニングについての意識が高い”アスリートには、「イチロー」「クルム伊達公子」「工藤公康」

現役で長く活躍を続けているアスリートが上位を占めています。見えないところでの努力や自己管理ができることが高く評価されたと考えられます。

- 1位: イチロー(野球)
- 2位: クルム 伊達 公子(テニス)
- 3位: 工藤 公康(野球)
- 4位: 桑田 真澄(野球)
- 5位: 三浦 雄一郎(スキー)

4)“エコ/環境問題に関心を持っている”アスリートには、「中田英寿」「三浦雄一郎」「星野仙一」

エコに関連する活動を地道に行っているアスリートが認知され、高く評価されたと考えられます。

- 1位：中田 英寿(サッカー)
- 2位：三浦 雄一郎(スキー)
- 3位：星野 仙一(野球)
- 4位：イチロー(野球)
- 5位：クルム 伊達 公子(テニス)

5)“勢いを感じる”アスリートには、「ダルビッシュ有」「浅田真央」「錦織圭」特に目立った活躍をしている若いアスリートが高く評価されたと考えられます。

- 1位：ダルビッシュ有(野球)
- 2位：浅田 真央(フィギュアスケート)
- 3位：錦織 圭(テニス)
- 4位：石川 遼(ゴルフ)
- 5位：イチロー(野球)

■調査概要

- ・調査方法： Web 調査
- ・調査地区： 首都圏＋京阪神圏
(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県)
- ・調査対象者： 対象エリアに在住の15～69歳の男女
- ・有効回収サンプル数： 600 サンプル
- ・調査期間： 2008年6月20日～6月24日

■この件に関するお問い合わせ先

博報堂DYメディアパートナーズ

広報グループ 舟橋・加藤 03-6441-9347

スポーツ事業局 松波 03-6441-9631

メディア・コンテンツマーケティング局 大足 03-6441-9772